ＪＡＲＬクラブ登録番号 10－4－68　replace [(a)] with [@]↓
発　　行　JR3KQJ　中島 昌己　(kcj-c(a)kcj-cw.com)
編　　集　JI1XSE　森　孝之　(thekey(a)kcj-cw.com)
印 刷 発 送　JA9CZJ　松盛 裕吉
配　　信　JH3HGI　吉村 豊樹
レポート管理　JA2OLJ　岩川 吉伸　(kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
会 員 部　JA7QLP　工藤 博昭　(kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
会　　計　JO3OMA　長井 浩輔　(kcj-acnt(a)kcj-cw.com)
郵便振替口座　00860－1－13444　名義：全国ＣＷ同好会
ＫＣＪホームページ　http://www.kcj-cw.com

【ハムフェア2018のKCJブースへようこそ！！】

【KCJのご紹介】

私たち『KCJ（全国CW同好会・Keymen's Club of Japan）』はCW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時にCW通信技術を高めるために努力しています。CW同好会が、将来ただの［CW保存会］になってしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが死んで博物館に置かれるような保存ではなく、その電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段として世界を飛びまわっている[動態保存]であれば、これは愉快なことではないでしょうか。そのためにも、本会は"下手の横好き"の会ではなく、"好きこそものの上手"の会になるべく努力を積み重ねたいと思っています。

略称のKCJ（Keymen's Club of Japan）には、メンバーの一人ひとりが良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界のKey stoneを守る人物でありたいという願いが込められています。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。いっときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心をもったりというだけでなく、通信の原点であるCWが大好きで、CWを生涯、腕を磨くテーマの一つにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

本会へ入会をご希望の方は本紙3ページ、または「KCJ公式ホームページ」をご覧ください。
(http://www.kcj-cw.com/)

【KCJの沿革】

・1976年 9月：設立総会（名古屋市）
　会員62名で発足
・1977年 9月：KCJAアワード発行開始
・1979年10月：都道府県略称制定
・1980年 8月：第1回KCJコンテスト開催
・1980年10月：JARL登録クラブ(#10-4-68)となる
・1985年 2月：第1回トップバンドコンテスト開催
・1986年10月：10MHz QSO Festival開催
　(2000年5月迄)
・1995年 7月：第1回KCJ VHF&UPコンテスト開催
　(2002年迄)
・1997年 5月：公式ホームページ開設
・2000年 4月：初のDX友好会員を迎える
・2001年10月：KCJA-meアワード発行開始
・2004年 9月：JARLコンテストのドナーとなる
・2005年 8月：ハムフェア初参加
・2006年 9月：第16回総会（吹田市）
　設立30周年 会員163名
・2007年 6月：KCJ設立30周年記念QSOパーティー開催
・2009年 8月：KCJコンテストにマルチオペ部門を新設
・2011年 2月：クラブ局 JR8YLYを開設
・2011年 8月：東日本大震災に際し有志から募金を募り日本赤十字社に寄付
・2015年9月 ：創設40周年記念行事開催
　～2016年9月
・2016年 2月：OAM再開　7.018MHz±QRM
・2016年 9月：第21回総会（花巻市）
　設立40周年 会員222名
・2018年 5月：会報「ザ・キー」創刊500号達成
・2018年 7月：会員258名

【CWerのためのアワード『KCJA』(Keymen's Century of Japan Award)のご案内】

※ KCJA 賞の基本規約は次のとおりです。

☆日本の1都道府県とのモールス符号を使用する電信による交信で得たQSLを1点とし、下記の規定の点数を得ることにより発行される。
ただし1バンドにおいては、1都道府県との交信は1回に限るものとする。

基本賞　　100 点 ・・・ KCJA Class 100

さらに上位賞を下記単位で設定し、ステッカーを発行する。

100～400 点まで・・・50 点増加毎
400～600 点まで・・・25 点増加毎
600 点以上　　・・・10 点増加毎

KCJAの規約詳細および特定申請用紙は
〒964-0203 福島県二本松市木幡字塩之沢 162　氏家一男（JH7FQK） までSASE で請求、
または、KCJ 公式ホームページからダウンロードして下さい。

会員の活動実績の一部を、下記に紹介します。

Members activity report (2018 June)

今月の一言　　by JA2OLJ IWA

今回の!!想定以上!!の豪雨では、多大な災害がおこり、被災地の方々にはお見舞い申し上げます。
暑さも真っ盛り。連日35度超えの日が続き、お空のCONDXも超過熱気味。ときには144MHz帯のEspも出現。
”犬も歩けば棒にあたる”式で、144MHz帯でのDX QSOが出来ないかと密かに期待をしています。

KCJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	667	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	37	12	8	47	0	1805
JA1KI	600	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	24	16	12	11	21	47	1	1805
JA2MYA	590	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	41	27	7	0	0	45	0	1805
JA2OLJ	570	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	34	24	15	–	–	27	0	1805
JA2QVP	504	47	47	47	47	47	46	47	40	45	45	26	18	–	–	–	2	1	1803
JE0JAO	468	40	46	47	47	47	46	46	39	38	44	24	4	–	–	–	–	0	1805
JG8NKJ	448	31	47	47	47	47	47	47	45	46	43	1	–	–	–	–	–	0	1805
JA7TJ	423	46	47	47	47	47	46	47	45	47	–	2	2	–	–	–	–	0	1711
JO1XEU	406	47	47	47	47	47	46	47	45	33	–	–	–	–	–	–	–	-1	1805
JA3VOV	265	39	44	47	22	24	17	21	4	13	20	14	–	–	–	–	–	0	1805
JM7GTK	259	15	37	47	30	31	19	22	22	20	16	–	–	–	–	–	–	2	1805
JO4IMO	74	12	21	41	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	73	1805

AJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	18985	1619	1618	1620	1626	1624	1617	1617	1603	1573	1225	700	599	406	74	43	1421	39	1805
JA2MYA	12115	1513	1593	1620	1607	1278	1010	862	632	567	559	405	138	33	0	0	298	0	1805
JA2OLJ	11183	1361	1523	1550	1536	963	961	819	590	529	649	316	262	61	–	–	63	0	1805
JA2QVP	8856	1129	1395	1585	1164	1003	381	791	225	417	508	154	101	–	–	–	3	46	1803
JE0JAO	6273	170	656	1477	1475	915	377	535	136	160	268	96	8	–	–	–	–	0	1805
JG8NKJ	5563	79	796	1130	772	844	480	497	286	342	336	1	–	–	–	–	–	0	1805
JA3VOV	1238	99	218	558	22	24	10	32	5	150	60	60	–	–	–	–	–	0	1805
JM7GTK	1019	22	123	572	80	67	33	36	34	27	25	–	–	–	–	–	–	16	1805
JO4IMO	202	12	30	160	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	201	1805

【CWerのためのコンテストのご案内】

KCJは、CWに特化した以下の2つのコンテストを実施しています。コンテスト規約はKCJ公式ホームページをご参照ください。

※ KCJトップバンドコンテスト（毎年2月）

1.9MHz帯に限定し、1985年に開始したコンテストです。当時のJARLコンテストは1.9MHz帯が含まれており、狭いバンド幅で大混乱が発生、のちに廃止となってしまいました。

そこで、KCJでは規約の工夫やマナーの啓発を行い、1.9MHz帯でコンテストが可能と立証してきました。現在も、DX局や不参加局が共存できるように配慮しています。来年は2月9日(土)・10日(日)に実施予定ですのでご参加願います。

※ KCJコンテスト（毎年8月）

1980年に、第1回を開催しました。当時のコンテストは提出ログを並べ替えるだけでしたが、(1)個人局電信部門に限定し、(2)提出ログを全数照合して，双方の記載内容が一致した場合に限って得点を与える、という手法を最初に考案、実施しました。

今年は8月18日(土)～19日(日)に、第39回を開催しました。ログの〆切は9月5日（水）です。

この2つのコンテストではコンテストナンバーに、当会が制定した以下のアルファベット2文字の都府県振興局略称および大陸名略称を使用しており、非常にスピーディーなコンテストQSOが楽しめます。なお、この都府県振興局略称および大陸名略称は他のいくつかのCWコンテストでも使用していただいております。

［都府県振興局略称および大陸名略称］

宗谷 SY	留萌 RM	上川 KK	空知 SC	石狩 IS	根室 NM	後志 SB	
十勝 TC	釧路 KR	日高 HD	胆振 IR	桧山 HY	渡島 OM	オホーツク OH	
青森 AM	岩手 IT	秋田 AT	山形 YM	宮城 MG	福島 FS		
新潟 NI	長野 NN						
東京 TK	神奈川 KN	千葉 CB	埼玉 ST	茨城 IB	栃木 TG	群馬 GM	山梨 YN
静岡 SO	岐阜 GF	愛知 AC	三重 ME				
京都 KT	滋賀 SI	奈良 NR	大阪 OS	和歌山 WK	兵庫 HG		
富山 TY	福井 FI	石川 IK					
岡山 OY	島根 SN	山口 YG	鳥取 TT	広島 HS			
香川 KA	徳島 TS	愛媛 EH	高知 KC				
福岡 FO	佐賀 SG	長崎 NS	熊本 KM	大分 OT	宮崎 MZ	鹿児島 KG	沖縄 ON
小笠原 OG	南鳥島 MT						
アジア AS	オセアニア OC	ヨーロッパ EU	北米 NA	南米 SA	アフリカ AF		

【KCJが主催するコンテストに参加される方にお願い！！】

既に承知いただいている方も多いと思いますが、ここでKCJのコンテストに参加いただく方に再度お願いをいたします。

KCJでは提出いただいたログを全て電子データ化して、互いに突き合わせを行い、一致したQSOデータにポイントを計上する、というシステムを取っております。したがいまして、コンテスト中にたとえ1局でもQSO(ナンバー交換)をされたら、ぜひログを提出くださいますようお願いいたします。

【KCJへ入会を希望される方へ】

入会申込書は会員担当に E-mailで請求願います。（KCJ公式ホームページからダウンロードも可能）SASE（長形3号封筒に宛先を記入して92円切手を貼付）を送って取り寄せも可能です。

送付先：〒174-0046 東京都板橋区蓮根1-1-22-205
JA7QLP 工藤 博昭
E-mail：kcj-mem2(a)kcj-cw.com　((a)は@に置換え)

入会申込書に必要事項を記入の上、会長まで郵送またはE-mailでお送りください。
送付先：〒668-0821 豊岡市市場 602-1
JR3KQJ 中島 昌己
E-mail：kcj-c(a)kcj-cw.com ((a)は@に置換え)

役員会で承認された後、入会金600円を納入していただくと、正式に会員になります。
本会の年会費は1,200円ですが、繰越金の解消のために現在は隔年会費としており、入会後は会計からの案内に従って会費納入をお願いします。

【会員投稿】

『QSLあれこれ』

JA2MYA 白木 博

われわれハムがQSLというと、一般にはQSLカードを指すことが多い。皆様ご存知のとおり、本来の意味は、電波法の無線局運用規則に定めるQ符号の中のQSLで、その意味は、そちらは受信証を送ることが出来ますかです。これから受信証－QSLカードなったものと思う。

小生は、リタイアーした後、時間だけは十分あるのでQSO数が多くなり、月間約500局以上の交信を、この10年ほど続けている。このため、JARLから隔月で送られてくるカードも宅配便で、その数も700～800枚程度となり、この整理も1枚ずつPCに入力して行うため、3日ほどかかり特に小さな文字で書かれたものは、老齢の小生の場合は拡大鏡で確認せねばならず苦労している。

このような相手方もあるという考えで、カードを作っていただければ非常にありがたい。また、このカードは交信を証明するものであるから、最小限次の事項の記入が必要である。

1,自局と相手方のコールサイン　(必須)
2,交信日時　　(必須)
3,使用周波数、モード　(必須)
4,QTH, JCC/JCG, GL

QSLカードの製作は各局いろいろな考えから、高価な写真入りのもの、手書きのものまで各種あるが、要は交信の内容を証明するものであるから、最低限の必要事項を記入し相手方が見やすく喜んでもらえるものを作るべきである。必要事項のみを、見やすくさりげなく書かれたカードは、手書きのものでも貰ってもうれしいものだ。

数百枚を整理して疲れてくると、小さな文字でゴチャゴチャ書かれているカードは、相手のことは考慮せず自分の思惑のみを、相手に押し付けてくるものとして嫌になってしまう。特にコールサインが小さく、どこに書いてあるかわからないのは全く困る。

カードの記入で、考慮すべき点をのべてみる。

◆コールサインは大きく一目でわかるように、複数のコールサインを記入してある場合は、運用したコールを明記する。また極端な飾り文字は間違いやすいので使用しない。
◆国内QSOはJSTを使用する。
◆交信日は、Y/M/D を明確にする、特に月と日を明確に。
◆使用周波数でMHzなのかメートルなのかを明確に、ただの10だけでは10MHzなのか10mなのかわからない。
◆アワード愛好家も多いのでJCC/JCG, GL、その他必要なものをなるべく記入する。

昭和36年から現在まで58年間ハムをやってきて、QSLカードで感じたことを書いてみました。参考にしてもらえたら嬉しいです、皆様のFB-DXを祈ります。

『紀伊半島無線の旅』

JA9CZJ 松盛 裕吉

今回も米国Larryさんのリクエストで、岐阜、三重、和歌山と無線旅行です。

リクエストを成功させるために予め運用地点を探しておきます。岐阜県大野郡は前回の新潟県湯沢町と同様に山あいの地区。そこで、石川と岐阜を結ぶ(旧称)白山スーパー林道の開通を待ち、開通直後に峠越えの駐車場でJA9CZJとW4UATが交信。やっぱり高さも大切。次は三重県木曽岬町。見つけました、干拓地のようなところに船着き場があり、ここでも比較的スムーズに交信できました。この時に使った局はJR8YLYだったのですが、CZJと交信できないと心配していたようです。

国内局とも交信しましたが、14メガでは少ししかできませんでした。三重県を南下して津市の道の駅で車中泊。

三重県では多気郡や鳥羽市などがリクエスト地でした。当日中に和歌山県新宮市まで足を延ばし、船着き場でLarryさんと交信できました。

［新宮市　船着き場　右手はUSA方向］

多少の時間があったのでJR8YLYの局を運用しましたが、3交信に終わりました。

翌日も翌々日も運用の計画を立てていたのですが、警報級の大雨予想、車中泊の予定だった道の駅は大水害が2度も起きたことが現地で判明。不安を感じて2時間ほど車を走らせて別のところで寝ることに。

3日目は予報通り大雨、加えて竜巻予報が出ていたらしく、港なら洪水のはずがないとタカをくくっていたら、車が揺さぶられる強風。海に落ちたら困るので岸壁から離れて土砂降りの中を運用しましたが、御坊市をご奉仕できませんでした。少し離れた日高郡ではしっかり交信できたのに、なぜか御坊市は時間、バンドを変えて3時間近く粘りましたが交信不成立。日程が1日残っていましたが、まだまだ強い雨が降り続くとのことで観光もままならず帰宅の途につきました。

日程が変更になり、豪雨のこともあり、JR8YLYの交信局数は12交信とさみしい結果になりました。940km走行の旅。

【KANHAM2018出展を終えて】

JO3OMA 長井 浩輔

7月14日、15日に開催された関西アマチュア無線フェスティバル（通称KANHAM）への出展は無事に終了しました。出展場所は1階の一番奥となりましたが、展示と販売の棲み分けが無くなったこともあり、人通りは他の場所とさほど変わりませんでした。

展示内容として今年も「モールス解読機」や動画展示（久々の新作含むHi）、エレキーの操作体験コーナーを用意しましたが、解読機は今年も好評でした。

昨年と違ってパドルでも打てるようになりましたので、初心者の方は取っつきやすく、経験者は案外苦戦される方が多数あり（私もその一人）、賑わいました。普段のQSOでは「TU」がつながって「X」になっていても頭で「TU」と聞き取りますが、解読器は当然のように「X」を表示しますね　Hi.

来場者は主催者発表で土曜日5,000名、日曜日4,000名となっていますが、日曜日はここ数年で最も少なかったのではないでしょうか。土日とも猛暑で連日来られる方がかなり減ったように感じますし、それを裏付けるように、日曜日の撤収開始も皆さん非常に早く、KCJ横のJA9CDさんご一行も13時には撤収完了、屋外展示も昼前にガラガラだったようです。開催時期をずらすか、屋内で完結できるような会場に変更するなどの対策を本気で考えないと、いずれ事故につながるのではと感じています。

今年もKCJ憩いの場として、あちこちから多数のメンバーが駆けつけてくださいました。

後段：JP6SPZ JH3HGI JF3ELH JI3DST JA3RDU JF6TWP JE6HCL JP3AYQ JR3XEX JO3OMA
前段： JG4JIS JF6TWE JI6BFF JK1EBA JH3IQL JR3KQJ
［1日目の集合写真］

後段：JF6TWP JA3RDU JG3SVP JI6BFF JE6HCL JR3BWF JH3HGI
前段：（guest- JN3DGF）JF6TWE JO3OMA JL8LGW JH9FCP JF3ELH
［2日目の集合写真］

猛暑の二日間でしたが、お越しいただいた皆様、お手伝いただいた皆様、本当にありがとうございました。

【各局短信】

●JA1KI：念願久しかったKCJA600、当局にとってはこれぞ限界のようですが、漸く達成でき感一入（かんひとしお）です。

●JA2MYA：ハイバンドが良くなり、国内のバンドニューを追いかけています、でも近距離はまだNGですね。

●JA2OLJ：待望のCD-78を発注。秋頃までには、タワーの上の故障CD-78と交換の予定。冬場のLow Band DX時期に間に合わせたいと思っています。

LoTWで申請したクレジットが届きました。「345」が2枚入っていて、MixとCWです。「350」有るのかなー?

●JA2QVP:最近は天候が変ですね。5Band DXCC(MIX)につづき30m, 17m, 12mもMIXで100を越えたので申請をしようと思います。30mはダイポール、17m, 12mはクッシュクラフトのR-6000での運用でした。

最近はHBのCONDXが良いのでJCC, JCGの穴埋めを行っています。しかし17m, 12mのR-6000は給電点が3mHなのでなかなか厳しいです。それでも、このアンテナで今回のKH1/KH7ZはCW、FT8がGETできました。

これから猛暑が続くと思いますが、皆様お体をご自愛ください。

●JA3VOV：アンテナを張り替えましたが、台風から続く梅雨前線の長雨で、調整ができずにいます。

●JA7TJ:6月1日運用再開出来ました(休止8ヵ月)。これは裏山のタワー廻りの刈払いなど大輪でのアンテナ整備をしてくれたJA7EVHなどローカルハム仲間の好意によるもので、友情に深謝です。

●JA8AJE：DXが聞こえない、聞こえないと興味も薄れてくる、というわけで今回のKH1もまだ呼ぶことすらやっていません。DXCCチャレンジのため各バンドでQSOをということも考えられますが、CWしかやらないので、チャレンジも興味なしです。

少し半田付けのほうに興味が移ってきて、部品を取りそろえたりキットを買い込んだりしています。キットを買うなら部品を取りそろえる必要はないのですが　Hi.

●JE0JAO：6月21日にJCG01081ゲットでようやくWAGA(CW)達成！！　1st QSOが1991年9月8日ですから27年かかりました。QSLが届くまでリストの整理をたのしみます。WACAはまだ9市1区残っています。

●JG8NKJ：USB系機器のいじりすぎか？PC DISKが不調で回復不能になった！これを契機にXPからWin10に乗り換えることにしました。

Win10の高速化対策を施したらストレスがかなり減少したので、まー良いかと！でも異国に来た感じで慣れるまでストレスです。

RIG接続V2が出来たがFT8のDecode率が劣悪。機器の問題？Win10の環境？まだ不明です。RTTYは長い冬眠から目覚めました。

ALL JA8をやりましたが信号が聞き辛い！友人との会話で出た「眼だけじゃなく、最近耳の調子も悪い」の言葉を思い出して俺もかー？！身体能力の衰え（老化？Hi）に不安がよぎる昨今であります。年代がF,G,Hの多いALL JA8では各局お世話になりました。MNY TKS.

●JO1XEU：落雷の不安と己の体力の著しい低下が重なり、もうトップバンドコンテストの準備としてフルサイズLoop ANTを再組立てしようとする気力が湧いてきません。当初はデルタループでしたが、単管パイプ+アルミパイプで両端にサブタワーを作り形だけはループとなり、ローバンドDxing(ON4UN著)は参考になりました。

シャック近くの給電点で同調周波数を1.9MHzに近づけ、インピーダンスをAZ-1で測れば110オームです。次は1:2のバランの作成に移るのですが、防水に自信が持てませんでしたので、どうせ専用のチューナを追加するのだからとそのまま引き込んでチューナに接続せり。SWR1.0に近づけられるために雨が降ろうが雪が積もろうが精神的に安定いたしました。

この結果はバッチリでワッチに集中でき、ヨーロッパとのQSOが何度も成立し、そのQSLを見るたびに自作のかいがあったと一人喜びにひたっております。

●JO4IMO：今まで手つかず状態に近かった、頂いたQSLの整理を始めることが出来た。改めて確認してみると、お相手の方のコールサインのミスコピーをしてしまっていたりして、自身の技術向上も大切ではあるが、同時に整理の大切さ痛感した。

●JQ1NGT：今年も本州から北海道に移動し、50MHzで運用する局が複数おり追いかけをしていました。なかなか北海道全体が開けることはありませんね。

オールアジアDXコンテストは28MHzで参加。今年は昨年よりコンディションが悪く、過去最低のマルチ7。KH6, YB, VK, ZLすら聞こえずBY, HL, KH2にJAが群がる有様。本当に忍耐のコンテストだった。

月末は、KH1/KH7Zの追いかけで楽しんだ。ここは久しぶりですね。

●JR3KQJ:KH1/KH7Zはいかがでしたか?私は残念ながら1.9Mと28Mで取りこぼしました。

（完）